

第6回高砂市総合計画審議会（全体会）
議事録【要旨】

開催日時	平成22年7月2日（金） 午後2時00分～午後3時35分
開催場所	南庁舎5階大会議室
会長	近藤委員
出席者	近藤委員、谷口委員、田端委員、赤木委員、伊藤 隆委員 稲田委員、伊保委員、北野委員、國分委員、作間委員 中井委員、中野委員、前田委員、松本委員、森本委員 米田委員、紙谷委員、坂口委員、砂川委員、辻委員 渡邊委員、田中委員、宮野委員（代理 米澤）（23名）
欠席者	伊藤勝之委員、大上委員、柿木委員、喜始委員 山名委員、石原委員、高岡委員（7名）
議事	（1）基本構想・基本計画（答申案）について （2）将来都市像について （3）重点施策について （4）まちづくり指標について （5）パブリックコメント意見について
資料	1. 第4次高砂市総合計画基本構想（素案） <u>第4版</u> 2. 第4次高砂市総合計画基本計画（素案） <u>第3版</u> 3. 第4次高砂市総合計画基本構想（素案）骨子・・・・・・・・・・（資料1） 4. 第4次高砂市総合計画基本構想・基本計画（素案）新旧対照表 ・・・・・・・・・・（資料2） 5. 将来都市像（案）一覧表・・・・・・・・・・（資料3） 6. 重点施策（案）・・・・・・・・・・（資料4） 7. まちづくり指標（案）一覧表・・・・・・・・・・（資料5） 8. パブリックコメント意見の概要とそれに対する考え方（案） ・・・・・・・・・・（資料6） 9. 高砂市総合計画審議会の今後のスケジュール・・・・・・・・・・（資料7）

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>1. 開 会</p> <p>ただいまより第6回高砂市総合計画審議会を開催する。</p>
会長	<p>2. あいさつ</p> <p>皆さん、こんにちは。高砂市総合計画審議会第6回の全体会のご案内を申し上げますところ、大変お忙しいなか、また足元のお悪いなか、ご出席たまわりましてありがとうございます。</p> <p>4月、5月とそれぞれ部会でのご審議、大変ご苦労さまでございました。その部会でいただきましたご意見、また、パブリックコメント等の意見も踏まえまして、事務局が再度、基本構想の素案、基本計画の素案を修正いたしまして事前に皆さま方にご送付させていただいております。</p> <p>昨年5月29日の第1回の審議会のなかで、登市長から諮問をいただいております高砂市総合計画についてであります。本日の審議を一応、最終といたしまして、皆さまからご意見をちょうだいいたします。それを踏まえて次回の全体会に向けて答申案をまとめていきたいというふうに考えております。皆さまのご協力のもと、進めてまいりたいと思います。最後までどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
副市長	<p>本日は、大変お忙しいなか、第6回の総合計画審議会にご出席いただきましてどうもありがとうございます。また、皆さまには平素から市政全般にわたりまして大変ご協力いただいております。厚くお礼申し上げます。</p> <p>昨年の5月29日の第1回の審議会以降、全体会でのご審議、また分野ごとに分かれての部会審議、それから小委員会での運営協議など、大変長期間にわたりまして終始熱心にご審議いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。</p> <p>審議会でのご意見を踏まえまして、本日は総合計画の素案をご提示させていただいております。本日を審議の最終としてご意見を頂戴し、よりよい計画をつくってまいりたいと考えております。委員の皆さまにおかれましては、忌憚のない活発なご意見をお願い申し上げます。簡単ではございますが、開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>本日の会議は、出席23名、欠席7名。審議会条例第5条第3項の規定により、過半数が出席されているため、会議が成立していることを報告する。また、</p>

	<p>当審議会の公開について、高砂市総合計画審議会の運営に関する規程に基づき公開としている。なお本日の傍聴希望者は2名。</p> <p>○資料確認</p> <p>本日の会議は会議次第により進行する。今後の議事進行は会長にお願いする。</p>
<p>会長</p>	<p>3. 議 事</p> <p>本日の議事、5つの課題を一つずつ審議をしていく。</p> <p>(1) 基本構想・基本計画（答申案）について事務局よりご説明いただく。</p>
<p>事務局</p>	<p>(1) 基本構想・基本計画（答申案）について説明。</p> <p>4、5月部会、パブリックコメントなどの意見を踏まえて修正したものである。修正部分を網掛け表示しているが、修正の主な点について説明する。</p> <p>《基本構想》</p> <p>P 2 基本計画に「指標や目標を設定します」と追加</p> <p>P 3 P 2の関連で（指標の設定）と追加</p> <p>P 7 「典型的な瀬戸内海気候で・・・に恵まれています」と分かりやすい表現に修正</p> <p>P 10 ③地区別人口 地域を地区に統一</p> <p>P 23 以降は基本計画で説明</p> <p>《基本計画》</p> <p>P 1 基本目標の表現が市役所的ではないかという意見により修正</p> <p>P 2 施策の目標 「行政が」を追加</p> <p>P 3 分かりやすい表現に修正</p> <p>P 6 計画③情報交流の促進 ネットコミュニティを育成する必要があるという意見により修正</p> <p>P 8 計画④福祉や地域活動の担い手づくり・拠点づくり 地域ごと、各地区で市民が集まりやすい拠点づくりが必要であるという意見により「各地区の」を追加</p> <p>P 9 計画⑥安全で安心して暮らせる環境づくり 表現が少し分かりにくいという意見により「、地域や福祉関係者の連携による防災マップづくり及び災害時要援護者避難支援プラン全体計画の整備など」という具体的な記述を追加</p> <p>P 10 施策の目標 表現が少し弱い、インパクトのある、頑張るのだというような表現にできないかという意見により「一人のいじめも虐待もない社会」「孤独に悩む保護者を出さない社会」を追加</p> <p>P 11 「保育・教育」、「保育所、幼稚園」の順に表現を整理</p> <p>P 16 計画③地域ケア体制の整備 在宅医療にも言及する必要があると</p>

	<p>いう意見により修正</p> <p>P 19 現況と課題 メタボリックシンドローム等の表現部分を整理 計画⑤適正飲酒教育の実施という表現に整理</p> <p>P 21 現況と課題 市民病院について、それを取り巻く地域医療の現況等を記入する必要があるという意見により修正 施策の目標 地域完結型医療を目指すのは、市民病院が目指すのか、広域の観点から目指すのか、どちらかという意見により修正</p> <p>P 22 計画③経営基盤の確立 「持続可能な病院経営を行うため、病院経営の効率化を図ります」に修正</p> <p>P 23 計画②経済的支援の推進 「医療制度を取り巻く環境や経済情勢の変化に柔軟に対応し、医療費の助成が必要な人に経済的支援を行い、負担の軽減を図ります」と表現を整理</p> <p>P 26 基本目標 三位一体にならないのではないかと意見により「地域社会づくり」を追加</p> <p>P 27 保育所、幼稚園、小学校の表記に関して、保育所、幼稚園、小学校と順番を統一して表現を整理</p> <p>P 36 計画②教育相談体制の充実 関係機関との連携の記載があるのではないかと意見により「相談窓口を周知するとともに、医療機関、NPO と連携し、相談体制の充実を図ります」という表現に整理</p> <p>P 41 学校の適正配置、適正規模の内容を入れてはどうかという意見により「児童生徒数の将来予測をふまえ、良好な教育環境の創出による学校施設の整備、改修に取り組みます」を追加</p> <p>P 47 計画①社会教育施設等の整備・運営 図書館等の施設建設について、「早期実現」を「早期建設」に修正</p> <p>P 51, 52 謡曲「高砂」は高砂を代表するものである。義務教育のなかでこれを歌えるようにするとよいのではという意見により、現況と課題、計画①個性ある地域づくりの推進 に追加</p> <p>P 52 計画③芸術・文化活動の推進 「文化連盟との連携のもと、新たな芸術・文化活動への支援や育成に努めます」と修正 まちづくり市民提案の高砂の文化と全国の文化との交流が必要であるのではないかと意見により「市内の芸術・文化活動を推進するとともに、他市との交流を行うことにより、さらなる活動の場を広げます」を追加</p> <p>P 64 施策の目標 防災に関して、地域自らが自らの地域を守っていくという視点が必要ではないかと意見により修正</p> <p>P 65 計画③防災対応力の充実 地域防災計画の見直しが非常に大事であるという意見により「災害対策の基本となる高砂市地域防災計画を適宜見直し、実効性の確保に努めます」を一番に記載 災害時要援護者についての協議も必要ではないかと意見によ</p>
--	---

	<p>り「高齢者、障がい者等の災害時要援護者に対し、災害時に迅速かつ的確な対応が図れるよう、地域と連携して、支援体制づくりを推進します」を追加</p> <p>広域的な体制の充実の記載が必要ではないかという意見により「相互応援協定に基づき、東播磨地域をはじめとする近隣市町との連携に努めるとともに、大規模災害にも対応できるよう、広域災害ネットワーク災害時応援協定の拡充・拡大を図ります」を追加</p> <p>P 70 現況と課題 消費者庁の発足など現況等が変化、取り巻く状況が変化しているので、そのような文言を追加する必要があるという意見により追加</p> <p>P 71 計画③消費者教育の推進 消費者教育をもっと積極的に推進する表現を入れてはどうかという意見により追加</p> <p>P 77 現況と課題 下水道における広域行政の記述も必要ではという意見により追加</p> <p>P 84 計画⑤建築指導の充実 法律の内容を記載する方が分かりやすいという意見により表現を修正</p> <p>P 85 計画①鉄道交通の充実、②バス交通の充実 利便性の向上を具体的に記述してはどうか、具体的に表現してはどうかという意見により表現を追加</p> <p>P 90 現況と課題 表現を分かりやすく整理</p> <p>P 91 現況と課題、計画②鉄道駅周辺整備の推進 J R 曾根駅南側からのアクセス改善と駅周辺整備の検討を追加</p> <p>P 103 計画①観光資源の開発 できるだけ具体的な例、固有名詞を入れた方が、自分たちの計画になるのではないかという意見により「「高砂神社」、「石の宝殿」、「曾根神社」、「高御位山」等を貴重な観光資源ととらえ、これらを中心とした観光ルートの設定を行います。」を追加</p> <p>P 112 計画⑤庁舎の整備 「庁舎建設に向けた方針を策定します」に修正</p>
会長	<p>前回の全体会以降、寄せられた意見、指摘等に基づき、必要な箇所を訂正した。いま説明のあった範囲で意見、あるいは質問等あるか。文言等の訂正でも結構。何かお気付きの点があればご指摘いただきたい。</p>
委員	<p>基本計画の 64 ページ3 防災、＜施策の目標＞に、災害から市民の生命や身体、財産を守ると書いてあるが、今年3月ごろの新聞に、高砂で洪水が起きた際、どの地域まで水に浸かるかということが出ていた。それによると阿弥陀地区の国道2号まで浸かるそうだ。対応策、計画等つくってくださっているが、やはり市民の安全、命を守るということを考えると、ハザードマップの見直し</p>

	<p>をしつつ、高砂市民の命を第一に考え、といった項目を入れていただきたい。気象状況も刻々と変わっているため、今後、検討しながら変えていく必要があると思う。</p>
<p>会長</p>	<p>いろいろな実情、あるいは地域の方々の意見を反映して、ハザードマップも見直しが必要だと思うので、それが分かるような表現がよいと思う。出前講座の開催のあとぐらいに「・ハザードマップのなお一層の充実などにより防災知識の普及、啓発に努め」と入れてはどうか。非常に貴重なご意見をいただいた。ハザードマップは常々検証しつつ訂正していかなければならないと思う。</p> <p>そのほか、意見はないか。</p>
<p>副会長</p>	<p>当初よりも、市民が地域で集まって力を発揮していくという印象を与えるような表現になっている。当初は、行政がしてあげるといった表現があったと思うが、地域防災などをはじめいろいろ見直しをいただいた。ハザードマップも逐一直しながら、よりよいものをつくり上げていくといった姿勢が出てくるようになってきたと感じている。</p>
<p>会長</p>	<p>当初よりはだいぶいい感じになってきたという評価をいただいた。原則、ただいまの指摘を修正し、小委員会で詳細に検討を加えていきたい。そのほか意見はないか。ないようなので次に進む。</p> <p>それでは議事の2番目将来都市像について説明願う。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 将来都市像について説明</p>
<p>会長</p>	<p>ただいま6案出ている。先般の小委員会では、キャッチフレーズはできるだけ短い方がいいだろうということで、1番を一押しにしようと思とまとまった。今日は2番から6番までの候補について意見を頂戴したい。小委員会ではキャッチフレーズは短くということになったが、これを言葉にして市民に語りかける場合、短い方がいいのかどうかという見方も出てきている。実際に市民に語りかけるのは市長だろうと思うので、いろんな人々の立場も考えながら絞り込みをしなければならない。1番と2番はよく似た内容なので、このあたりを中心に最後決めるのかなということを考えている。次回小委員会でもう少し詳しく議論して決めていきたいので、今日は意見だけ伺いたい。</p>
<p>委員</p>	<p>私は1番の「～郷土に学び 未来を拓く～生活文化都市 高砂」がいいと思う。高砂の古きをたずねて新しきを知っていく。いま現在も地域の掘り起こしをしているが、そうしたことから考えても、1番は非常によいと思って感動している。</p>

会長	1番は本当に温故知新そのものという感じがする。
委員	われわれ世代は、たしかに1番、2番がいいと思うが、厳しい経済情勢のなか、若い人にとっては暮らしについての不安が切実感を持って出てきているのではないか。そのうえにやはり文化を忘れてはならないということで、5番が若い人にはぴったりくるのではないか。歴史だ、郷土だ未来だ言っても、いまの生活がしっかりしていないのにと、若い人に言われそうな気がする。
会長	たしかに暮らしを守ることが大切である。そのほか意見はないか。
委員	将来都市像の3と4と6には夢とか希望といった言葉があるが、当然、市のキャッチフレーズのなかにはこういう内容を入れる必要があると思うが、逆にほかの言葉で高砂の夢や希望をイメージできるようにしてはどうか。例えば、健康・環境・文化の3つのキーワードを高砂の夢、希望として埋め込められればと思っている。
会長	では、次回の小委員会まで少しお考えいただきたい。考えれば考えるほど難しくなっていくが。ほぼ皆さん方のお考えは分かったと思うので、小委員会でもっと詳しく詰めていきたい。 それでは議事の3番目、重点施策について説明いただきたい。
事務局	(3) 重点施策について説明。
会長	重点施策を表示した箇所を具体的に示して説明してほしい。
事務局	資料4、5関連資料をご覧いただきたい。星印と太文字表示で、分かるようなかたちで表示していきたいと考えている。
会長	イメージは分かったが、現状では太字になっているか判別ができない。印刷段階ではもう少し目立つよう工夫をいただきたい。 重点施策はすべて星印と少し太字ということになったが、こうした取り扱いでよいか。何かご意見があればいただきたい。
各委員	(特になし)
会長	意見がないようなので、これにて進めたい。 では次、議事の(4)まちづくり指標について説明いただく。
事務局	(4)まちづくり指標(案)について説明。

会長	この件に関して、もし意見があればいただきたい。
各委員	(特になし)
会長	ないようなので、このままで話を進める。 次、5つ目の議題、パブリックコメントのご意見及び、それへの対応について説明願う。
事務局	(5) パブリックコメント意見について説明。
会長	パブリックコメントは、2名の方から 20 件のご意見が寄せられた。事務局にて回答案を作成いただいたが、最終的には審議会の考え方として回答することになる。回答時期はいつか。
事務局	答申後に回答する予定。
会長	7月23日、次回の全体会終了後に回答するということである。これはホームページで回答するのか。
事務局	ホームページで回答する。
会長	問合せ等があった際は対応をよろしく願います。パブリックコメントの回答について何か意見はないか。
委員	「可能な限り」という言葉で始まっている項目があるが、このパブリックコメントを出された方は、これは大事なことから時期を明示してほしいと考えていると思われる。時期が明示できない場合は、その理由をはっきりさせるべきである。例えば、財政状況等先を読めない、また、税金が伸びない等々、そういった理由を書いて、そういうなかで可能な限り選定するという書き方をした方が回答としては親切だろう。「可能な限り」で始めると、平行線となり、けんかを売っているようにも受け取れる。
会長	特に1ページ目に多い。これについて事務局はどう考えるか。
事務局	「可能な限り」ということを先に出さず、審議会として状況、現況も把握したうえで計画策定しているといった表現を入れたいと考えている。
委員	質問者は、真剣に高砂市民として、高砂市の現在と将来を心配している方で

事務局	<p>あるから、できるだけ親身に、可能な限り現状を赤裸々に伝えることが一番良い方法だと思う。オブラートに包むと、かえって誤解を生みやすく、また誠意を持っていないのではないかという疑念を持たれかねない。行政としての考えを包み隠さずきっちりとお答えいただきたい。</p> <p>表現を検討し、次回の小委員会でお答えする。</p>
会長	<p>では、次回小委員会で議論し、固めることとする。そのほか意見がなければ、これにて審議事項5件は終了する。議事の4番目、その他について事務局からお願いする。</p> <p>4. その他</p>
事務局	<p>○その他について説明。</p> <p>答申（案）、基本計画の修正箇所、将来都市像、パブリックコメント意見については、小委員会に一任させていただきたいが、よろしいか。</p>
各委員	<p>（異議なし）</p>
事務局	<p>ではそのようにさせていただく。</p> <p>全体会での審議は本日をもって終了。</p> <p>7月9日 小委員会（正副会長、正副部会長 出席）</p> <p>7月23日 全体会（答申）</p> <p>答申を受け、市議会（9月議会）に提案予定</p>
会長	<p>キャッチフレーズについて、副市長から市長の意向を聞いていただきたい。</p>
副市長	<p>承知した。</p>
会長	<p>小委員会7月9日までに返答お願いしたい。では最後に、両副会長にあいさついただく。</p> <p>5. 閉 会</p>
副会長	<p>長い間ご審議ありがとうございました。皆さんがあまりふれなかった指標について、あえてふれさせていただきます。指標をつくるということは、結構大変なことです。指標には、目標値の上か下かという方向性だけが示されてはいるんですが、なぜこれが大変かという、実は行政だけではできないことがいっぱいあるんです。例を挙げますと、2ページの子育て支援に合計特殊出生率</p>

	<p>の 27 年度の目標値を挙げています。これは残念ながら、行政だけでできるものではありません。計画内容はここに書かれていますが、これができて、はたして目標値が上がるかという、そうとも言えません。ですから、そういう意味では、この目標値は大事ではありますが、行政だけではできないこともいっぱいあると。では、これは何かというと、やはり市民がこの指標を読むことによって、そうか、行政はこういうことを考えて、こういうことを支援していると。けれども、私たち市民の方向としてこの計画がつくられているわけです。市民として計画をつくっているわけですから、そういう意味では市民として何ができるのかということをやはり考えていかなければならないだろうと思っています。ですから、この指標というのは、そういうふうな見方もできるのかなど。つまり、私たち市民に何ができるのかということを考えて、そのうえの、そのための指標にもなっているんだと思っています。ご意見がなかったということは、たぶん皆さんこれについてはおそらくこれでいいだろうなと思っいらっしゃると思います。であれば、次は活動する、行動する場面だと思っていますので、またまたそれぞれたくさんすることはありますけれども、それぞれの団体なり、あるいはそれぞれの地域なりでのこれからのご活動をお願いします。ありがとうございます。</p>
副会長	<p>私もこの1年あまり、皆さま方と一緒にさせていただきまして、大変勉強になりました。特に会長の運営手腕をはじめ委員の方々の、これは特に部会での前向きな意見交換というものに、あらためてこの高砂の可能性というものを学ばせていただいたしだいです。例えば、計画の内容ですが、私、非常に印象深い言葉として、重点施策にもありましたけれども、第2章のところを少し読ませていただきます。一人のいじめも虐待もない。孤独に悩む保護者を出さない。孤独死を出さない。一切の差別を許さないぬくもりのあるまちをめざします。実は、これほど公約としては実現可能性の低いというか、危ない公約はないんですが、これを事務局の方々や、福祉部の方々が最後まで文章として残していただいたということに非常に感謝申し上げたいと思います。これは市だけではなくて、副会長がおっしゃられたように市と市民との相互契約的なものがこうやって最後まで残ったということは、これまでの計画にはなかったことではないかなというふうにも考えております。このような姿勢を10年間貫くことで、例えば、健康、健やかにかとか、環境、安心してとか、あるいは文化に満ち足りた高砂になっていくということを非常に祈っております。最後になりましたが、これもワールドカップではないんですが、このチームで学ばせていただいたということを、私は非常にあらためてこれを申し上げたいと思います。ありがとうございました。</p>
会長	<p>では、これにて閉会とする。</p>